



▲4月9日に行われたオープンセレモニー。

令和2年3月に閉校した旧玉野中学校校舎を活用するため、玉野地区公民館を移設。教室や体育館などの学校施設を有効活用し、地区民が集いやすく使いやすい施設になりました。

トピックス TOPICS 6 玉野地区公民館 移設オープン



▲大会議室



▲小会議室



▲体育館(外の別玄関より出入りします)



▲調理室



▲玉野放課後児童クラブも入っています。



▲事務室(元職員室を利用)

これまで使用していた玉野地区公民館は、玉野地区生活改善センターとして昭和53年12月に建築されたもので、築43年となり、老朽化が進んでいました。
令和3年4月1日より、閉校となった玉野中学校校舎へ移転し、新たな玉野地区公民館としてオープンしました。
4月9日、地区の代表者等を招いてオープンセレモニーを開催。これからは玉野地区の地域づくりの拠点および地域と行政との橋渡しを行う機関として、玉野地区の皆さんの手助けを行ってまいります。

トピックス TOPICS 3



▲そば作りは「工夫次第で収穫量を上げられるのが魅力」と語る高橋氏。遊休農地を畑に戻すことで農地維持にも役立っています。

グッドハーベストコンクールで 高橋良一氏(横内)が県知事賞受賞
大豆・そば・飼料用米を生産し、特徴ある取り組みを行っている農業者・生産組織を表彰する「山形県グッドハーベストコンクール」。令和2年度の「そば部門・個人」で高橋良一氏が県知事賞を受賞しました。高橋氏は平成22年からそば作りを始め、現在では耕作面積が40haまでに拡大。昨年度は高性能の播種機を導入し、低コストで生産能力を高める取り組みを行った結果、収穫量が増大しました。花や野菜の苗などを作りながら、人件費をかけず一人でそばの耕作を行っています。今後とも体力が続く限り続けていきたい」と意欲を見せてくれました。

トピックス TOPICS 4



▲4月10日市役所内で抗菌剤塗布作業を実施。

ジャパンクリエイト(株) 市役所で抗菌剤塗布実施
4月10日、ジャパンクリエイト(株)が、地域貢献活動の一環として無償で市庁舎内でウイルス感染防止用の抗菌剤塗布作業を実施しました。薬剤には人体に無害な最新のものが使用され、受付窓口や椅子、トイレ等に、丁寧に薬剤を噴霧していただきました。
この作業により、皆様に安心して市役所を訪れていただけるような環境が整いました。ご厚意に感謝いたします。

トピックス TOPICS 5



新型コロナウイルスワクチン 集団接種開始
4月28日より、サルナートを会場に、新型コロナウイルスワクチンの集団接種が始まりました。65歳以上の方から接種開始となり、初日の28日は267人が予防接種を受けました。
今後とも国からのワクチンの供給に合わせて順次接種を進めていきます。

第20回 雪のラブレター 結果発表

大賞(◎)、優秀賞(○)作品を紹介します。※敬称略

「俳句の部」(応募数 4千68作品)

◎ポケットに手を入れてくる雪女
ルーク(東京都)

○初雪や「あっ」「ほら」と声かさなりて
鴨川 紡(兵庫県)

○この宿のこの椅子が好き雪明り
原田 れい子(山形県)

「恋文の部」(応募数 1千59作品)

◎孫からカイロを送ったと嬉しい電話が入り玄関の雪掻きをし、心にも貼ろうと居間で茶を啜り待ちます。ピンポンと宅配便、疲れた足腰にオッコラドッコイショと声掛けして出たのに無慈悲な不在票。孫心は午後の便までお預けで、爺は玄関に座り待つことにします。
今野 芳彦(秋田県)

○もち米が準備してある。年末の餅つきは長男の仕事なのだ。元旦、市販の餅をこっそり雑煮に入れる。今年の餅は柔らかい、と微笑む父と母。六十肩の息子は杵が持ち上がらないんだよ。二人の中では未だに高校生の息子。もち米をトラックに、詫びつつ雪道を帰る。
恍惚爺(兵庫県)

○信号が青になり、そろりと発進したつもりだった。車が横滑りして旋回する。ブレーキを踏むとスピードが増した。ダメだ！降りしきる雪の中から夫の声がした。「ブレーキから足を離せ！落ち着け！」縁石に乗り上げて止まった。私は空に夫を探す。
けい(山形県)